

報道関係 各位

全国農業協同組合連合会 栃木県本部
(JA 全農とちぎ)

「第 26 回全農肉牛枝肉共励会」の成績について 栃木県勢 2 度目の快挙！“3 部門全てで最優秀賞”受賞！

6 月 28 日(金)に東京都中央卸売市場食肉市場にて開催された全国規模の枝肉共励会「第 26 回全農肉牛枝肉共励会」において、**栃木県内生産者が和牛去勢、和牛牝、交雑種の 3 部門の全てで、最優秀賞に輝きました。**



左から、第 2 部最優秀賞の近藤さん、第 1 部最優秀賞の佐藤さん、第 3 部最優秀賞の手塚さん（欠席のため写真は代理者）

JA 全農が主催する同共励会は、肉用牛肥育技術の確立と枝肉の品質向上および経済性の追求に資することを目的としたもので、全国の産地から出品された枝肉の審査を通じて、肉質等を競い合います。

2 年前の第 24 回において、“3 部門最優秀賞”という「初の快挙」を果たしましたが、今回で 2 度目の快挙となりました。

●審査結果

厳正なる審査の結果、第 1 部和牛去勢の部では最高位である名誉賞の受賞は逃したものの、2 番手である最優秀賞を JA なすの管内の佐藤和徳さんが受賞し、第 2 部和牛牝の部では JA おやま管内の(株)近藤ファームが、第 3 部交雑種の部では JA しおのやの(株)手塚畜産がそれぞれ最高位である最優秀賞を受賞しました。

和牛去勢の部は、3 年連続での最優秀賞獲得です。和牛牝の部では、栃木県が去勢牛の出荷が多い産地ということもある中、2 年ぶり 2 度目の最優秀賞受賞となりました。

交雑種の部は、2019 年、2023 年では惜しくも最優秀賞を逃したものの、交雑種の部が開設された 2008 年から 2018 年までは 11 年連続、さらに 2020 年から 2022 年とトップに立ち、今回再び 15 回目の最優秀賞を獲得しました。

【報道関係者からのお問合せ先】

JA 全農とちぎ 管理部 広報担当：田中

TEL：028-616-8804（代）080-8542-5594（直通）

Mail：tanaka-miu@zennoh.or.jp

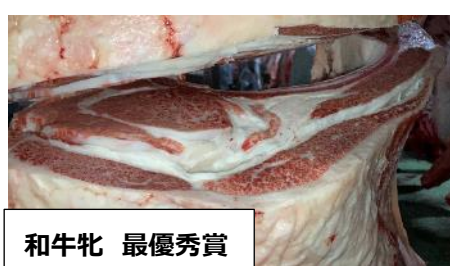
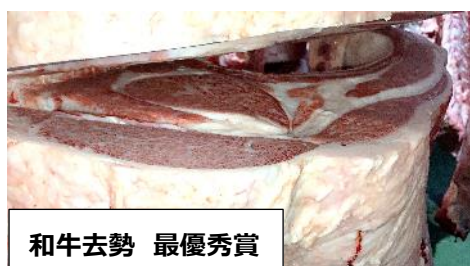
第 1 部和牛去勢の部 最優秀賞

佐藤 和徳さん(JA なすの)



第 2 部和牛牝の部 最優秀賞

(株)近藤ファーム (JA おやま)



受賞者は以下のとおりです。(敬称略)

部門	氏名	J A 名	褒賞
第 1 部 和牛去勢	佐藤 和徳	なすの	最優秀賞
	(同)早乙女ファーム	しもつけ	優秀賞
	シノザキ牧場	うつのみや	優良賞
	(同)たむら畜産	しもつけ	優良賞
第 2 部 和牛牝	(株)近藤ファーム	おやま	最優秀賞
第 3 部 交雑種	(株)手塚畜産	しおのや	最優秀賞

今回は、全国 19 都県から第 1 部和牛去勢の部に 209 頭、第 2 部和牛牝の部に 101 頭、第 3 部交雑種の部に 29 頭の合計 339 頭が出品されました。うち、栃木県からは第 1 部に 52 頭、第 2 部に 9 頭、第 3 部には 20 頭の、計 81 頭の出品があり、その中で 6 名の県内生産者が受賞となりました。

全農とちぎ畜産部では、この快挙を弾みに、「とちぎ和牛」・「とちぎ霧降高原牛・日光高原牛」の販売促進活動をこれまで以上に進め、ブランド力強化と生産者の所得向上を図ってまいりますので、この快挙を広くお知らせいただきますようご案内申し上げます。

※本文章は県政記者クラブへもお送りしています。

JA グループや行政から同内容の文章が出ている場合がありますが、ご了承ください



【報道関係者からのお問合せ先】

JA 全農とちぎ 管理部 広報担当：田中

TEL：028-616-8804（代）080-8542-5594（直通）

Mail：tanaka-miu@zennoh.or.jp